

# 令和4年度第1回青梅市図書館運営協議会会議録

令和4年7月13日（水）午後6時

青梅市中央図書館多目的室

## ○ 委嘱状の交付

布田部長から新委員に対し委嘱状の交付

### 1 あいさつ

布田部長、会長

### 2 自己紹介

出席者全員

### 3 報告事項

#### (1) 指定管理者による図書館の管理運営について

(指定管理者) [資料にもとづき説明]

(会長) 事業報告書にある「三多摩地域資料研究会第1回臨時幹事会」とはどのような組織で、今回の幹事会の内容を教えてください。

(指定管理者) 三多摩地域資料研究会は、東京都市町村図書館長協議会の中の研究会のひとつで、三多摩の地域資料の保存について講師を招き助言をいただいたり、資料保存方法の情報交換等を自治体相互行い、図書館運営に活かす等の研究を行っている会です。幹事館については輪番に選ばれ、昨年度まで青梅市が会長を務めていました。第1回臨時幹事会については、次の会長市である稲城市に出向き、事務引継ぎを行いました。

(委員) 事業開催における新型コロナ対応について、現在、映画会などは参加者を定員まで戻しているとのことですが、今後、感染状況によって再度制限を加える等の対応は話し合っていますか。

(事務局) 今のところ国も行動制限しないと決まっていますので、このまま様子をみたいと思います。増加した場合は、近隣の市町村とも情報交換しながら対応を考えていきます。

(委員) 図書館実績については、コロナ前と比較すると80パーセント程度の回復とのことですが、少し長期的に回復を展望していく必要があると思います。デジタル化社会が進んできていますが、長期的に見ると図書館利用は減少しているのですか。

(指定管理者) 平成20年度と比較して、青梅市の図書館利用は減少しています。

一般的に紙媒体の書籍や雑誌などの出版点数自体が漸減してきています。また、電子書籍の登場により、雑誌などは定額で何冊も読めるサービスが出てきています。

このような社会状況の中で、図書館で紙媒体の本や雑誌を読むこと、本とリアルに向き合う体験を継続していくことの優位性が保てるのか、図書館の力が試されていると感じています。

(委員) 本の魅力を発信することが大切だと思います。新聞社や地元ケーブルテレビを活用することによって発信できるのではないですか。

(指定管理者) 行事等の開催情報は、新聞社や地元ケーブルテレビにお伝えしていますので、取材していただくことがあります。

(会長) 事業報告をみると、事業の発信という観点から様々な企画をされています。中でも吉川英治記念館で「記念館で読書案内」という企画をされたとのことですが、このような横断的な企画は良い試みだと思いました。

(委員) 吉川英治記念館から依頼し、吉川英治の少年少女向け児童文学を紹介するとともに、図書館スタッフから図書館利用案内とおはなし会を行う企画でした。参加者が大変喜んでいました。

(会長) 青梅市ゆかり作家ということで、社会教育とのコラボができて良いと思いました。

(委員) 学校図書館と公立図書館の関係と管轄について教えてください。また、学校にいるボランティアはどこの管轄ですか。

(指定管理者) 学校図書館は学校図書館法によって学校に設置が義務付けられています。公共図書館は自治体が市民のために設置するものです。青梅市の公立図書館については指定管理者が運営しています。

学校図書館のとの関係は、中央図書館に学校派遣スタッフ(学校司書)がおり、そのスタッフが学校図書館に行つて勤務します。図書館の中の清掃、本の配架変更、本の購入のお手伝い等の業務の中で、学校ボランティアさんと連携することがあります。

(事務局) 学校図書館は指導室、公共図書館は社会教育課が管轄となり、予算も別です。学校図書館の本は、学校予算で購入しています。

また、学校ボランティアは、学校自身が募集をされてボランティアとして活躍されているとうかがっています。

学校司書は、学校図書館の活動がスムーズにいくよう、学校の先生や学校ボランティアと連携しながら運営しています。

## (2) 第6回青梅市図書館を使った調べる学習コンクールについて

(指定管理者) [資料にもとづき説明]

(会長) 募集にあたり、昨年からの変更点はありますか。郵送受付の可否などはありますか。

(指定管理者) 青梅市では市内小・中学校を通じて申込をすることができますが、それ以外の学校の児童生徒もいるため、中央図書館への郵送受付を行っています。募集規定については、全国コンクールへの応募を仮定しているため、毎年その規定を採用します。

(委員) 青梅市図書館を使った調べる学習コンクールについて、小学校で教諭向け説明会を行っているが、どのような経緯で実施したか教えて欲しい。

(指定管理者) まず、指導室に概要をお話する機会を作り、その後、学校図書館の担当者と学校司書の連絡会を行った際にコンクールについて説明しました。その後、学校からの要望に添い、

中央図書館からスタッフを派遣して説明会を実施しました。

(委員) 中学校は以前から調べるコンクールの応募が少ない。このような取組を小学校でされているのであれば、中学校も工夫をできるのではないかと思います。

(事務局) 青梅市は全国的に見て応募数は多いのか。

(指定管理者) 全国的には応募点数は中堅位だと思います。

(会長) 全体的にコロナで応募数が減ったが、青梅市は全国コンクールで入賞する作品があり、中身が良いのは素晴らしいことだと思います。

(指定管理者) 全国の応募数は一昨年は8万件位、昨年度は10万件位に回復してきているので、応募件数は確実に増えていくと思われます。今年度も全国入賞を目指していきたいと思っております。

#### 4 その他

(事務局) [次回の運営協議会について等]

(会長) 以上で本日予定していた案件はすべて終了となりました。委員の先生方には長時間に渡り貴重なご意見を賜り、大変ありがとうございました。

これをもちまして、令和4年度第1回図書館運営協議会を閉会いたします。

以 上